

ritorno straight H

アルテマ リトーノストレート H
(縮毛矯正剤)

特許取得成分配合のダメージレスアルカリ矯正剤 『酢酸ストレート』

酢酸の力でアルカリ除去＋キューティクルクローズ
艶感 UP & 滑らかな手触りでしっかり伸びるストレート



毛髪内部にアプローチできる還元剤と
毛髪外部にアプローチできる酢酸の処方
通常のストレートだと解決できない
表面のポヤポヤした毛も酢酸の力で綺麗に抑える！！
従来の縮毛矯正、酸熱トリートメント
の良いとこどりの矯正剤が誕生！！

主成分 「チオグリコール酸」
pH9.1
還元濃度：チオ 11%
(チオ 7% ジチオ 4%)
アルカリ度 :5.0

- ✓従来のアルカリ縮毛矯正の良さを活かしつつ特許取得成分の酢酸ナトリウム（アルカリ除去）配合でよりダメージレスに
- ✓ストレート後のダメージケア&再現性アップ&持続制アップ
- ✓ストレートとカラーの同日施術可能（リトーノカラー推奨）
- ✓施術で使用した処理剤の持続制アップ
- ✓軟毛～硬毛まで幅広い髪質に短時間で対応

*ご使用方法

適量を毛髪に塗布し、良く馴染ませます。その後、10～20 分常温で放置してチェックします。
その後中間水洗をしっかりとして下さい。

- ・リトーノストレートにユノを 5～20% 混合すると薬剤がパワーアップします。

例カラー毛ミドルダメージの根元はユノを 10% 配合し 7～8 分自然放置でチェックが目安となります。
(ストレート後のカラーはリトーノを使用するとよりアルカリ除去するので更に効果的です)

全成分

チオグリコール酸アンモニウム液、ジチオジグリコール酸ジアンモニウム液、濃グリセリン、モノエタノールアミン液、ベヘニルアルコール、セタノール、パルミチン酸イソプロピル、流動パラフィン、尿素、塩化セチルトリメチルアンモニウム、塩化アルキルトリメチルアンモニウム、ポリオキシエチレンセチルエーテル、メチルポリシロキサン、酢酸、水酸化ナトリウム、ジエチレントリアミン五酢酸五ナトリウム液、アンモニア水、L-アルギニン、ヒドロキシプロピルキトサン液、リン酸、香料、精製水

医薬部外品

ULTEVA リトーノストレート (ブロー or アイロン)

TECHNIQUE

5

POINT1

薬剤塗布

※薬剤選定は目安ですので、毛髪診断をしっかりと行い瀬術してください。

- バージン毛～カラー毛・・・単品で塗布。
薬剤のパワーアップはユノを5～20%混合
- ダメージ毛・・・リトーノストレートとリッチを2:1の割合で塗布。
- ハイダメージ毛・・・リトーノストレートとドロップを1:3～1:5の割合で塗布。
(ブリーチ毛の場合は塗布時注意。
塗布後の放置はせずすぐ流すなど注意。)

ハイダメージ毛はディープKで前処理。
ハーフウェット or ドライどちらでも可能です

リッチ6.5の混合目的・・・アルカリ度とpHを少し弱め還元力は落とさない
ドロップの混合目的・・・アルカリ度とpHと還元力を落とす(減力する)



リトーノストレート ドロップ リッチ6.5

放置

塗布した時点から還元が始まります。
自然放置で10～20分放置してください。
アルカリ配合なので加温する際はきをつけてください。

中間水洗

POINT2

ネオシャンプーで泡立てる

(1剤の除去、アミノ酸&保湿剤の補給)



→
ネオシャンプー

ドロップでチェンジリンス

(毛髪内部&外部修復、擬似キューティクル、耐熱性アップ)



ドロップ

POINT3

アイロン or ツインブロー

アクアを塗布しドライ後アイロン(ブローの場合は7～8割乾いてからブロー)
アイロンは180～190度

(アクアを使用すると熱からの耐熱性が上がります。酸化促進効果もあり)
(ハイダメージ毛はエステティックオイル or ディープSの使用をオススメします)
◆アクア・・・キューティクルの溝を埋めるエンドウ豆タンパク、CMC、保湿剤高配合。



アクア



エステティック
オイル

※ツインブローはテンションは少なく、熱はしっかり。
毛先はツインブラシだと熱が弱いので、ロールブラシなどでしっかり熱処理して下さい。
根元付近はオンベース気味に、中間～毛先は2～3パネルまとめて、ダウンstemでブローして下さい。
アイロン使用もツインブロー後に行うとダメージを抑えられ、よりクオリティの高い仕上がりになります。

2ndローション処理

※2～5分が目安。



2ndローション
OX 過酸化水素
2ndローション
Br プロム酸



ドロップ

※セカンドローションにドロップを20%添加すると質感がUPします。

ネオシャンプー

水洗&仕上げ

※ネオシャンプーで後処理すると、質感向上&残臭が緩和されます。

★カラーを行う場合は、ブロー後そのままカラーを塗布できます★

※新生部にアクアorディープKorドロップを5%添加、履歴部に20%添加して下さい。
処理剤でPHコントロールをしないと定着が弱まってしまいます。

※カラーは特許取得した修復系リトーノカラーがオススメです！